

高浜発電所第4号機用ウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)燃料に係る輸入燃料体検査補正申請書の概要について

(MOX燃料の製造結果を踏まえ朱記箇所を更新)

輸入燃料体検査補正申請書の記載概要 (平成29年6月2日補正申請)		備考
(平成22年1月26日付け申請の検査および品質保証活動の計画に対する結果等について追加提出)		
申請書の構成	記載概要	
本文	燃料の種類、初期濃縮度、燃焼率、燃料体の構造、 燃料体の個数 、製造者、使用発電所、検査希望年月日および場所 [製造体数16体]	燃料体の個数について、燃料体番号が確定したことから、 燃料体番号(KGKT33~48) を追記
添付書類一~添付書類四は添付不要		実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則に基づき、補正申請時は添付不要。
一. 燃料体の耐熱性、耐放射線性、耐腐食性、その他の性能に関する説明書 二. 燃料要素の強度計算書 三. 燃料体の構造図 四. 加工のフローシート		
五. 燃料材、燃料被覆材、その他の部品の組成、構造、強度等に関する 試験の結果に関する資料	検査の結果	当社は、製造の工程ごとに抜取検査を実施し、品質記録の記録確認を実施した結果、ペレット、燃料棒、燃料集合体およびその他の部品に対する全ての輸入燃料体検査項目について合格であり、MOX燃料が定められた仕様を満足していることを確認した旨を記載。
六. 品質保証に関する説明書	MOX燃料の調達に係る調達先の評価、 品質保証活動の結果	MOX燃料の製造期間を通じてメロックス工場に当社社員を1人~6人(延べ約400人・日)を派遣し、検査・試験管理、製造状況の確認等の品質保証活動を第三者機関を活用して実施することにより、当社要求事項を満たすMOX燃料が製造されたことを確認した旨を記載。 (表参照) また、異常事態の発生に備え、規制当局等への連絡方法、体制を事前に定め、製造開始前の連絡訓練により機能することを確認した旨を記載。

表 製造期間を通じた品質保証活動の具体的実績の説明

平成28年度	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ペレット製造 燃料棒製造 燃料集合体製造	8/30	メロックス工場でのMOX燃料製造							3/20
立会検査 (抜取検査、記録確認)		←----- ・当社の立会検査を42回実施 -----→							
工程監査	←----- ペレット工程監査 -----→		←----- 燃料棒工程監査 -----→		←----- 燃料集合体工程監査 -----→		} ・ペレット、燃料棒、集合体の工程ごとに工程監査を36日実施		
巡視	当社向けMOX燃料の製造・検査の工程を毎日巡視(休日除く)								
現地駐在体制	・派遣体制: 1人~6人(延べ約400人・日) ・現地駐在責任者1人、検査・巡視員1~3人の体制。 なお工程監査時は監査チームが加わる。(重複有り)								

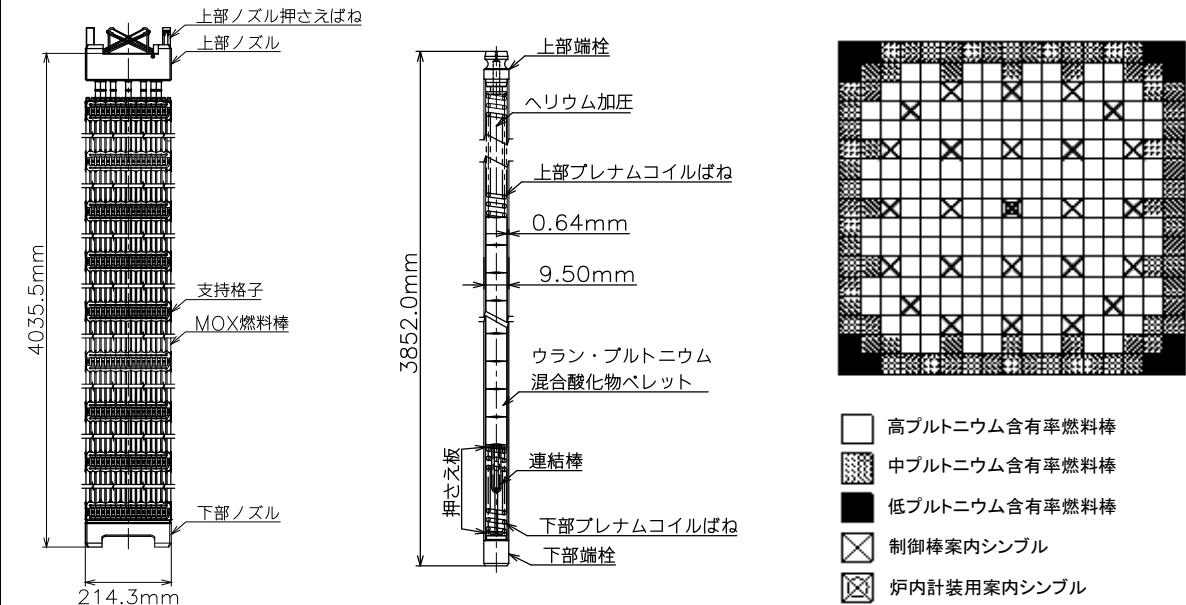


図 MOX燃料の構造図